

生きている富士山

目の前にそびえ、毎日、私たちに雄大な姿を見せてくれる富士山。富士市の象徴とも言える富士山ですが、皆さんは富士山が「活火山」であることをご存じですか。

昨年末ごろ、低周波地震が多発し、「富士山が噴火？」という記事を新聞や雑誌で目にするようになりました。

今回は、その低周波地震についての情報と、富士山の噴火の歴史をお知らせします。

富士山は日本で一番大きな活火山

現在、「活火山」とは、過去二千年以内に噴火した火山や、現在でも噴気活動が活発な火山、または将来噴火する可能性がある火山のことをいいます。世界有数の火山国である日本には、計八十六の活火山があり、中でも富士山は日本で一番大きな活火山です。

富士山の噴火の歴史

富士山のはっきりした噴火記録は、西暦七八一年までさかのぼることができません。以来少なくとも、確かな噴火記録は十回残っています。さまざまな古文書には、噴火の経緯や噴火によって引き起こされた火山災害の様子が書かれ、富士山の噴火の恐ろしさ、被害の大きさを現代



に伝えていきます。

とくに八〇〇〜八〇二年の噴火（延暦噴火）、八六四〜八六六年の噴火（貞観噴火）については、それぞれ日本紀略、日本三代実録などの平安時代の歴史書にはっきりと記述されています。また、一七〇七年の宝永噴火は最も新しい噴火記録として、さまざまな文献に詳しい記述がたくさん残されています。

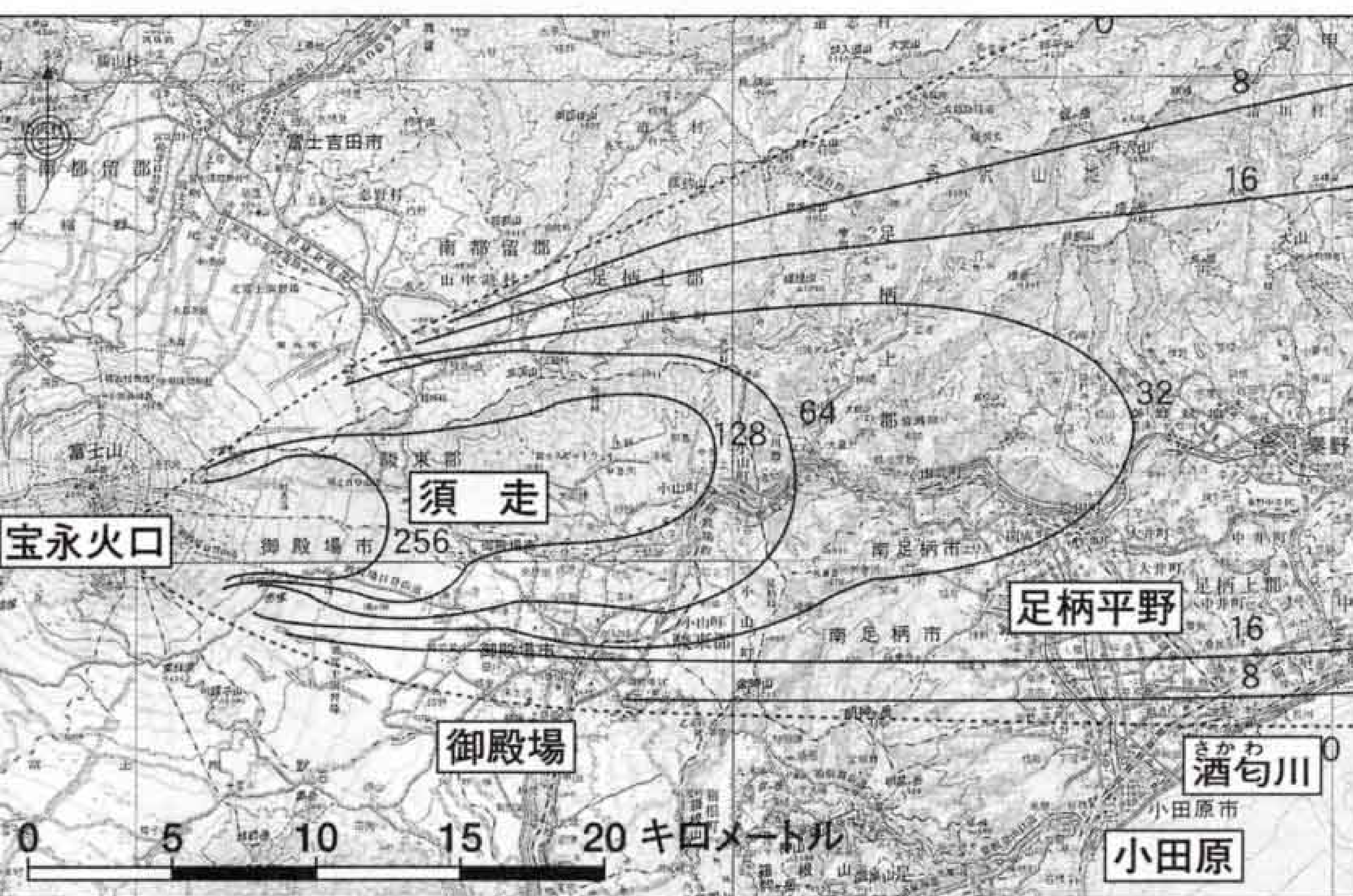
低周波地震は減少傾向

一九八〇年から、富士山の火山活動の観測を行った結果、富士山の地下、深さ十〜二十キロメートルの場所で「低周波地震」という、ゆっくりとした揺れ方をする地震が発生していることがわかりました。普通の地震は一秒間に十回

富士山の噴火履歴

西暦年代	活動の種類	古記録の記載事項（抜粋）
781年	噴火	山麓に降灰し、木の葉が枯れた（続日本紀）
800〜802年	延暦噴火	碎石が足柄路を塞いだので箱根路を開いた（日本紀略）
864〜866年	貞観噴火	溶岩流が本栖湖とセの海に流れ込んだ（日本三代実録）
937年	噴火	溶岩流が未知の湖を埋めた（日本紀略など）
999年	噴火	噴火（本朝世紀）
1020年	噴気と火映現象	山頂から煙が立ちのぼり、夜には炎が見えた（更級日記）
1033年	噴火	溶岩流が山麓に達した（日本紀略）
1083年	噴火	爆発的な噴火（扶桑略記など）
1435年	噴火	富士山に炎が見えた（王代記）
1511年	噴火	河口湖付近で異様な鳴動が聞こえ、鎌岩が燃えた（妙法寺記）
1704年	鳴動	元禄関東地震の35日後から4日間にわたって富士山が鳴った（太泉寺文書）
1707年	宝永噴火	宝永東海地震の49日後から2週間にわたって爆発的な噴火が生じた（史料多数）

宝永噴火時（1707年）に噴出された火山れき・火山灰の分布および厚さ（単位：cm）



この地図は国土交通省国土地理院発行の20万分の1地勢図を縮図複製したもの（資料提供：野菜茶業研究所 宮地直道氏）



以上揺れて、すぐに終わりますが、低周波地震は一秒間に数回しか揺れず、しかも長続きするのが特徴で、地殻中のマグマの動きに関連して引き起こされていると考えられています。

昨年末より富士山地下での低周波地震の多発傾向が続きましたが、ことしに入り、やや減少してきました。

この低周波地震の動きを受け、ことし二月五日に火山噴火予知連絡会（事務局・気象庁）が開催され、「現段階においては噴火に直接つながることは考えにくい。噴火に至るまでには、次の段階の動きがあらわれると考えている」との発表がありました。

今の富士山は一七〇七年の宝永噴火以来、約三百年間「眠った」状態が続いており、今回の低周波地震の動きは、眠っている富士山が「寝返りを打った」という状態なのかもしれません。これに応じて、東京大学地震研究所や文部科学省防災科学技術研究所では観測点をふやして、今後の富士山の変化をよりよく知ろうとしています。

防災対策は万全に

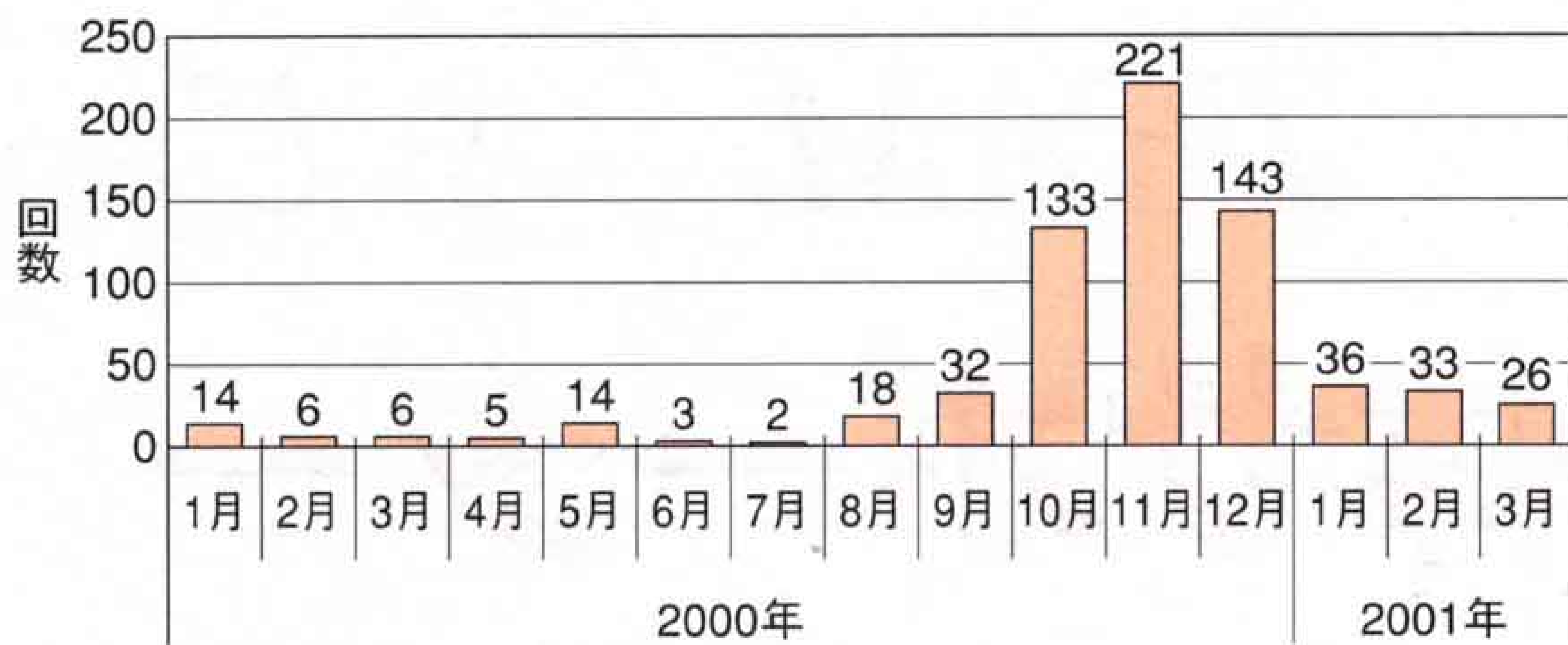
差し当たり富士山の噴火の可能性は差し迫ってはいないようですが、富士山は今でも生きている「活火山」であることを忘れずに「自らの命は自らで守る。自らの地域は皆で守る」のローガンのもと、地区の自主防災会活動への参加、非常持ち出し品の準備、避難場所の確認など、日ごろから防災対策に努めましょう。

市でも、富士山の低周波地震について新たな情報が入り次第、広報ふじなどでお知らせしていきます。

◆問い合わせ 防災対策課 ☎五五―二七―一五◆

富士山低周波地震

月別回数表
(資料・静岡気象台)



「富士山の噴火の歴史」と噴火履歴、地図の引用・「富士山火山防災ハンドブック」(発行者・富士砂防工事事務所、山梨県、静岡県)

富士市ホームページで

図書館資料・例規集・防災気象情報が見られます

★図書館資料

5月1日から、市立図書館が所蔵している本やCDなどの資料の検索が、インターネット上でできるようになります。皆さんの読みたい本が図書館にあるか、またどんな本が図書館にあるのかなど検索してみませんか。

★富士市例規集

5月7日から、富士市の条例や規則など、富士市例規集の内容が見られるようになります。市政全般について知りたいことや、わからないことがあったときなどにご利用ください。

★富士市防災気象情報サービス

地震情報、津波情報、注意報・警報、台風情報、天気図、天気予報、週間天気予報、府県アメダス、全国アメダス、レーダー、ひまわり、降水短時間予測、ポイント予測が見られます(降水短時間予測とポイント予測は、富士市域の予測も見られます)。このサービスは、消防防災庁舎2階PR室及び市庁舎2階市民ホールのモニターでも公開しています。



富士市ホームページアドレス <http://www.city.fuji.shizuoka.jp/>
問い合わせ 広報広聴課 ☎55-2700